

第2回豊川市総合計画審議会での意見及び対応一覧（まえがき）

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
1	全般	第6次総合計画と見比べて、ほとんど内容が変わっていない。10年経って、変えないといけない部分が多々あると思うが、今回はまち・ひと・しごと創生総合戦略の部分が入るから、それが足されているだけで、内容的にはほとんど変わっていない。10年の計画を立てて、できたりできなかったりで、今後検討する部分が出ていて、なぜこの中にそういうものが盛り込まれないのか。第5次と第6次も内容的にはそれほど変わっていないし、今回も第6次を第7次に数字を変えているだけで、内容を本当にきちんと精査して、必要な部分を見直しているのか、非常に疑問に思う。	河合委員	第6次で書いている課題や状況が引き続き変わっていない場合は、類似した内容を記載していますが、他の委員のご意見も踏まえて記載内容を見直しました。
2	第1章 計画策定にあたって 「1 計画策定のねらい」	3ページ目の中段に「人口減少に伴う多くの課題を克服し」と、前段で人口減少のことが書かれているが、ここは、なぜこういう計画を立てるのかという一番ベースになるところで、人口減少以外にも色々な課題があるはずなので、人口だけにフォーカスしているのは少し違和感がある。例えば、社会情勢の変化に伴うなど、特に13ページで色々書かれていると思うので、その辺りも含めた形で、様々な課題を克服するといった方が、人口の減少だけではないというところが明らかになって良いと思う。	鈴木委員	いただいたご意見を踏まえて、第6次総合計画の計画期間における市民の暮らしを振り返るとともに、将来にわたり市民の暮らしを支えていくための市の考えを記載するよう内容を見直しました。
3	第1章 計画策定にあたって 「3 計画の進行管理」	第5次、第6次の辺りから、あまり変わらないという印象を受けた。総合計画というのはそもそも、職員定数の計画や予算編成、行政評価など、その類のものが連動していないと、実施できないと思う。その辺りの連動が不十分だと思うので、その工夫を載せたほうが良いのではないかと思った。	神谷委員	定員管理や組織体制は、総合計画の政策実現を目指す上で重要であり、そのような前提で検討していますが、総合計画に位置付けていない事務も総括して検討するものであるため、総合計画への記載は省略させていただきます。なお、いただいたご意見は『定数計画』や『組織』との連動が不十分だと実施計画事業の実施が担保されない」という趣旨であると認識し、留意事項として関係課と共有させていただきます。
4	第1章 計画策定にあたって 「3 計画の進行管理」	恐らく、財政規模のうち実際使えるお金は多分2割くらいで、本当に総合計画のために、これまでの事業と関係なく自由に使えるお金は1割もないと思われる。その組み替えを工夫する中で、豊川市に自由に動かせるお金がどれくらいあるのか、どれくらいの予算規模で考えれば良いのかということを経済計画にも書いていないとまずいと思う。今まではこうしてお金を動かしてきたが、国の交付金の配分が変わったとか、過去に比べてどのように変わってきたのかということとリンクして考えていかないと、総合計画の大きなところが書けないと思う。市民の皆さんも、この審議会の中でもどの程度の予算規模なのか、昔と比べてどう変わっているのか、少し意識しながら話さないと、この「選択と集中」という議論のときに、間違った「選択と集中」になりかねない。	辰巳委員	予算などの財政に関する内容は、基本計画でとらえる財政の見通しでご確認いただけます。 総合計画に位置づける政策的な事業にかかる費用は、大型建設事業がある年度は金額が大きくなるなど、固定的な予算規模の中で整理できるものではないため、あくまで一般会計全体の財政計画を記載することとさせていただきます。

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
5	第2章 豊川市のすがた 「2 まちの特色」	11ページの「③活力ある産業」で、「商業は豊川、一宮、音羽、御津、小坂井といった合併前の市街地ごとに商店が集まり、それぞれの地域住民の生活を支えながら発展してきました。」と書かれており、まさにそのとおりではあるが、40年も50年も前の話なので、現状はどうなっているのかをしっかりと把握して記入いただきたい。	大場委員	課題などを踏まえた直近の現状については、毎年策定する実施計画などでとらえることとするため、本章の記載は原案のとおりとさせていただきます。
6	第3章 まちづくりの課題整理	13ページに「まちづくりの課題整理」とあるのですが、課題が整理されているというよりは、並べてあるだけの感じがするので、その後の計画につながっていく前段として、総合計画で出てくる政策の分野にきちんと分かれていると思うので、それごとに、現状の課題ということで整理するページがあった方が良く思う。まず課題はこれで、それを克服するためにこういう計画をしている、とつなげた方が良く思う。今は並べてあるだけの感じがするので、こういう情報があるので、最後にこういう整理をした、というゴールがあった方が良く思った。	鈴木委員	いただいたご意見を踏まえ、第3章「まちづくりの課題整理」に掲載する内容に加えて、市民意識調査における満足度と重要度の推移や、計画策定にあたり実施したアンケート、若者ワークショップ、市民ヒアリングなどからとらえるまちづくりの課題と、第7次総合計画に示すまちづくりの目標及び施策とのつながりを整理する資料を作成しました。(本資料の計画書への掲載については、別途検討させていただきます。)
7	第3章 まちづくりの課題整理	「1 時代の流れ」、「2 人口動向・市民意識の状況」となっているが、内容を読んでもどこが課題かわからない。「時代の流れ」は、本当に豊川市が劣っていて課題なのか、例えばゼロカーボンやる、DXが遅れているからやりなさいなど、国全体の話と混在しているので、そこはきちんと切り分けた方が良く思う。後半の市民などの意見のように、ダイレクトに箇条書きという方式も良いと思うが、これはまさに足りないことを指摘されている。きちんと分けて、領域にしっかり当てはめられるのかはわからないが、国全体の課題と、豊川市が本当に劣っていてやらないといけないという指摘があったものとを、領域で上手く分けながら書くなど、少し工夫した方が良く思った。	浅野副会長	いただいたご意見を踏まえ、「1 時代の流れ」については、本市における課題が表現できるように記載の体裁を見直しました。「2 人口動向・市民意識の状況」については、グラフを掲載し、そこから把握する課題を記載しました。
8	第3章 まちづくりの課題整理	アンケート、ワークショップ、ヒアリングでの意見が集計されただけでなく、今回の計画にきちんと反映されるのか？反映し、支援が必要な項目を施策として取り組んでいてもらいたい。	細井委員	各種アンケートや若者ワークショップ、まちづくり市民ヒアリングでいただいた意見については、本計画策定において参考とさせていただくほか、報告書を庁内各課へ共有し、今後の事業立案などに活用させていただきます。